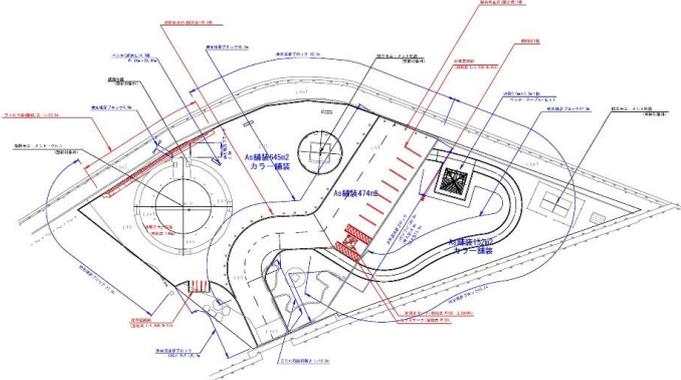


漁業集落復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	◆C-5-7-1	事業名	(46)復興地域づくり加速化事業
事業概要	<p>1 事業名：元木沢地区漁業集落憩いの場整備事業                      2 事業期間：平成26～27年度                      3 事業費：35,842千円(5,306千円)                      (1) 測量試験費 4,421千円(−175千円)                      ・縦横断測量等 1,035千円                      ・詳細設計委託料 3,331千円                      ・建築確認申請関連費用 55千円                      (2) 工事費 31,421千円(+5,481千円)                      ・敷地造成工(掘削、作業土工、残土処分) 582千円                      ・広場整備工(アスファルト舗装、境界ブロック設置等) 7,909千円                      ・サービス施設整備工(ベンチ、テーブル) 758千円                      ・管理施設整備工(説明板設置、車止め設置等) 1,926千円                      ・四阿整備工 3,573千円                      ・植栽工 105千円                      ・諸経費(経費率112%) 16,568千円</p>		
<p>4 事業内容及び事業実施地区：                      東日本大震災の経験と教訓を忘れないため、大津波により甚大な被害を受けた漁業集落地区において、漁業集落防災機能強化事業にて高台移転した方や地元住民が集い、交流するとともに、憩いの空間となる場所を整備するものである。                      整備内容は、市所有の公園内に市民団体が震災記憶の継承のために寄贈した石積みのモニュメントを活用し、復興交付金ではその周辺の環境整備(駐車場、駐輪場、四阿、ベンチ、歩道の整備等)を行うものである。                      公園面積：約2,400㎡                      事業実施地区については、大津波により住宅被害が発生し、漁業集落防災機能強化事業にて高台移転を実施した4地区(久慈湊・大崎地区、元木沢地区、玉の脇地区、久喜地区)の中で、建物の被害棟数及び被害額が最大であること、及び市営魚市場・水産関係の加工施設が集中し水産業への従事者が多いことから元木沢地区を選定したところである。</p> <p>(変更理由)                      先の事業決定により詳細設計を行ない、工事着手前の概算工事費を算出したところ、当初見込まれなかった施設整備の必要性が生じるとともに、単価改訂、工事諸経費率計算改定等により工事費の不足が見込まれることから増額申請をするものである。</p> <p>【参考】建物被害棟数・被害額                      ・久慈湊・大崎地区 388棟、4億5,667万円                      ・元木沢地区 436棟、20億8,184万円                      ・玉の脇地区 45棟、5,733万円                      ・久喜地区 95棟、8,960万円</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>			

※ この様式は、原則として、参考様式第1の別添2に記載した細要素事業名ごとに作成し、概要を示す図面を添付してください。